

1. 経 過

滝川駅周辺地区再生整備基本計画策定における中間報告とともに提示するとしていた財政見通しについては、昨年11月の総務文教常任委員会で報告したとおり、滝川駅周辺地区再生整備事業と市全体の将来的な財政見通しについて検討し、ご確認いただく予定でしたが、検討を進める過程で、

- ①今年度の市立病院の経営状況が、医業収益の急速な減少などにより一時9億円あった現金残高が年度末には残るかどうかの状況にまで悪化し、下期において回復の動きが見えるものの、経営強化プランどおりの収支が見込めなくなったことから、今後の病院事業会計の収支改善を図る必要が生じた
- ②令和7年度予算案の編成を同時に進めているが、ふるさと納税寄付金を一定程度確保できる状況である一方、病院事業会計へは繰出金の増額を見込まなければならない状況となった
- ③滝川駅周辺地区再生整備事業及び公共施設個別施設計画上の施設整備については、ふるさと基金を主な財源として整備を行う方針としていたが、上記の状況から、整備に活用できるふるさと基金が不透明な状況となった

ことから、具体的な滝川駅周辺地区再生整備事業にかかる財政見通しについては、予測できない状況となったところです。

2. 令和7年度における方針

この状況を克服するには、一刻も早く病院事業会計の収支改善に取り組む必要があります、すでに改善策の取りまとめに向け、院内のみならず市全体の重要課題として検討を始めているところですが、取りまとめやその効果を生み出すには一定の時間がかかることから、財政運営基本方針に定めた「財政の安全性確保～市立病院の健全経営の継続」に従い、令和7年度は、次のとおり”市が一丸となって最大限対応する”こととし、市民の皆様の生活に影響を及ぼさないよう努力していきます。

- 1) 病院事業会計へ国の繰出基準に基づき繰出金の3億円の増額（単年度総額14億円）を行います。

※財政調整基金やふるさと基金から繰り出します。

- 2) 施設整備に活用するふるさと基金を確保するため、ふるさと納税寄付金のさらなる増額をめざすとともに、ふるさと基金については施設整備以外にも財源とする事業が増加していることから、これら事業の見直しなども含めて基金確保に最大限努力します。

3. 滝川駅周辺地区再生整備事業の対応

2の方針を踏まえて、滝川駅周辺地区再生整備基本計画については現在策定中ですが、基本計画に基づく滝川駅周辺地区再生整備事業については、一旦停止します。

(参考) 病院事業会計の収支改善に向けた取組みについて

具体の改善策の取りまとめは今後になりますが、現時点の取組み内容は、次のとおりです。

- ・院内において副院長をトップとした経営改善検討会議の立ち上げ
- ・新たな国の制度活用などに向けた情報収集
- ・経営強化プラン実施支援業務の継続

など

滝川駅周辺地区再生整備事業にかかる財政見通しについて

この資料に関するお問い合わせは・・・

総務部 0125-23-1234 内1660 和田
内1620 小畑
内1631 岡崎